**Preferred Reporting Items for Systematic reviews and Meta-Analyses extension for Scoping Reviews (PRISMA-ScR) Checklist　日本語版**

| **セクション** | **項目**  **番号** | **PRISMA-ScR チェック項目** | **報告ページ #** |
| --- | --- | --- | --- |
| **タイトル** | | | |
| タイトル | 1 | スコーピングレビューということが記載されている | テキストを入力 |
| **要　約** | | | |
| 構造化抄録 | 2 | 背景，目的，選択基準，文献の出典，抽出方法，結果，研究（レビュー）疑問や目的に関連した結論，が含まれている（もしくはそれに該当する），構造化要約が記載されている． | テキストを入力 |
| **序　論** | | | |
| 論 拠 | 3 | 既知の事項と照らし合わせて，レビューの理論的根拠が記載されている．研究疑問/目的に対してスコーピングレビューに適している理由が説明されている． | テキストを入力 |
| 目 的 | 4 | 研究疑問や目的が明確に述べられており，研究疑問/目的の概念化に用いられた主要な要素(母集団や対象者，概念，文脈など)や，その他の要素についても言及されている． | テキストを入力 |
| **方　法** | | | |
| プロトコルと登録 | 5 | レビュープロトコルの有無，閲覧の可否やその方法（Webアドレスなど） ，閲覧可能であれば，登録番号を含む登録情報が記載されている．. | テキストを入力 |
| 選択基準 | 6 | 選択基準として用いられる文献（情報）の出典の特徴（検索対象期間，言語，出版形態など）が具体的に記載されている，また理論的根拠が提示されている． | テキストを入力 |
| 情報源\* | 7 | 検索に用いた全ての情報源（データベースと対象期間，追加情報を得るために著者に連絡した，など），ならびに最新検索日が記載されている． | テキストを入力 |
| 検 索 | 8 | 少なくとも1つのデータベースにおいて，再現できるように，使用された全ての”limits”を含む完全な電子検索式がめて記載されている． | テキストを入力 |
| 文献の選択† | 9 | 文献を選択したプロセス（スクリーニング，適格性など）が記載されている． | テキストを入力 |
| データ抽出の  プロセス‡ | 10 | 分析対象となった文献から，データを抽出する方法（例：調整されたフォームあるいは使用前にチームによって検証されたフォーム，データの抽出が単独あるいは複数名で行われたかどうか）や，研究者からどのようにデータの取得と確認を得たのかのプロセスが記載されている． | テキストを入力 |
| データ項目 | 11 | 取得されたデータや，あらゆる仮定・簡略化された全ての変数が，リスト化および定義されている | テキストを入力 |
| 特定の文献に対する批判的評価 § | 12 | もしその文献に対する批判的評価が実施されている場合は，その理論的根拠が示されている；使用された方法，そしてこの情報がデータ統合において，どのように用いられたか記載されている（該当する場合） | テキストを入力 |
| 結果の統合 | 13 | 抽出されたデータがどのように扱われ，要約されたのか記載されている． | テキストを入力 |
| **結　果** | | | |
| 文献の選択 | 14 | フローチャートなどを用いて，スクリーニング，適格性の評価，分析対象となった論文数をそれぞれ明記し，各段階での除外理由についても記載がなされている． | テキストを入力 |
| 文献の特徴 | 15 | 各論文について，抽出されたデータの特徴や引用元も記載されている | テキストを入力 |
| 文献の批判的評価 | 16 | 文献に対する批判的評価がなされている場合は，その情報が記載されている（項目12参照） | テキストを入力 |
| 各文献の結果 | 17 | 分析対象となった文献ごとに，研究疑問や目的に関連したデータが抽出され，記載されている | テキストを入力 |
| 結果の統合 | 18 | 研究疑問や目的に対応するように抽出された結果が，表記あるいは要約されている． | テキストを入力 |
| **考　察** | | | |
| 文献の要約 | 19 | 主要や結果（研究の概要，テーマ，利用可能な文献の種別を含む）の要約と，研究疑問や目的と対応させながら，結果（重要なグループ）の妥当性についても検討されている | テキストを入力 |
| 限 界 | 20 | スコーピングレビューの方法論としての限界について検討されている | テキストを入力 |
| 結 論 | 21 | 研究疑問や目的に対する結果の解釈について述べられており，臨床的有用性や可能性，今後の展望についても記載されている． | テキストを入力 |
| **資　金** | | | |
| 資 金 | 22 | スコーピングレビューおよび選択された論文に対する資金源について述べられている．スコーピングレビューにおける資金提供者の役割が記載されている． | テキストを入力 |

JBI = Joanna Briggs Institute; PRISMA-ScR = Preferred Reporting Items for Systematic reviews and Meta-Analyses extension for Scoping Reviews.

\* 文献データベース，ソーシャルメディアプラットフォーム，Webサイトなど，文献や情報が編纂される場所（二番目の脚注を参照）

† 研究論文だけでなくスコーピングレビューの対象となりうる様々なタイプの文献あるいは情報（例：量的および/または質的研究，専門的意見，政策文書）についても確認するために，より包括的・多分野の用語が用いられる．これを情報源と混同しないこと（1番目の脚注を参照）

‡*.*Arksey & O’Malleyや，Levacらによるフレームワークや，JBIガイダンスでは，スコーピングレビューのデータ抽出プロセスを“data charting”としている．（したがって本稿でもChartingは“抽出”と訳す）．

§研究のエビデンスの判定に先駆けて，その妥当性，結果，関連性について，システマティックに検討するプロセス．スコーピングレビューの対象となる様々な種類の情報（例：量的および/または質的研究，専門的意見，政策文書）を包括・言及するため，この用語は項目12，19において，“バイアスリスク”（介入のシステマティックレビューでより適用）の代わりに用いられている．

原典: Tricco AC, Lillie E, Zarin W, O'Brien KK, Colquhoun H, Levac D, et al. PRISMA Extension for Scoping Reviews (PRISMAScR): Checklist and Explanation. Ann Intern Med. 2018;169:467–473. [doi: 10.7326/M18-0850](http://annals.org/aim/fullarticle/2700389/prisma-extension-scoping-reviews-prisma-scr-checklist-explanation).

日本語訳: 友利幸之介，澤田辰徳，大野勘太，高橋香代子，沖田勇帆： スコーピングレビューのための報告チェックリスト：PRISMA-ScR．日本作業療法研究．2020．